

ANCA 関連糸球体腎炎における Percentage of ANCA Crescentic Score (PACS) と長期腎予後との関連に関する後ろ向き観察研究 に関する臨床データの研究利用についてのお願い

【研究の概要・背景】

抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎は、全身の細い血管に炎症を起こす病気で、腎臓に病変が生じると ANCA 関連糸球体腎炎となり、腎機能が低下して透析が必要になることがあります。腎生検による予後評価のため、半月体と硬化糸球体の割合を組み合わせた Percentage of ANCA Crescentic Score (PACS) が提案されていますが、長期腎予後との関係は十分に明らかではありません。

本研究では、当院で腎生検により ANCA 関連糸球体腎炎と診断された患者さんを対象に、既存の診療・病理情報を用いて、PACS と腎機能や透析導入との関連を検討します。

【試料・情報の利用目的・方法】

本研究では、通常診療で得られた年齢、性別、ANCA の種類、血液・尿検査、臓器病変、治療内容、経時的腎機能、透析導入の有無、腎生検病理所見などを解析します。再生検例は初回生検のみを対象とします。

取得した情報には研究用 ID を付けて管理し、氏名や患者 ID は研究に使用しません。対応表は当院内で厳重に保管し、個人を識別できる情報を院外へ提供しません。成果は学会・論文で公表しますが、個人が特定されることはありません。

【対象者・期間】

対象者：2006 年から 2024 年までに長岡赤十字病院で腎生検を受け、ANCA 関連糸球体腎炎と診断された成人の方（診療情報は 2026 年 6 月まで）

研究期間：倫理委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日まで

【データ利用のお願いと申し出について】

本研究は、通常診療で得られた既存情報を用いる後ろ向き観察研究です。新たな検査、受診、治療をお願いすることはなく、患者さんに新たな身体的負担や診療上の不利益はありません。

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、今後の診療等において不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：須藤真則

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)